



林業用具を返却するときのお願い



みなさん、活動お疲れさまでした！
 今回使われた林業用具は、これからもいろいろな
 人達が借りて、使っていくものです。
 次に使う人達のことを考えて、きちんと手入れを
 してから返却しましょう！



※使用時の破損(刃の欠け等)については、他のものと
 一緒にせず、分かるようにしてお申し出ください。

●手入れの仕方●

<p>下刈鎌(長柄)</p> 	<p>①まず刃に付いた汚れ(泥や草)を落とします。柄やカバーに泥がついている場合は、それも落とします。 ②砥石と水を用意し、水をかけながら均一に研ぎます。(砥石は使用前に水に浸しておきます。刃が熱を持たないように要注意！) ③水気を拭き取り、油を薄く塗ります。 ※砥石がない場合は、汚れを落として水気を拭き取り、油を塗るだけでも、きれいになります。 ④5本一組にして、ひもで結んでまとめます。</p>
<p>草刈鎌</p> 	<p>①まず刃に付いた汚れ(泥や草)を落とします。柄に泥がついている場合は、それも落とします。 ②砥石と水を用意し、水をかけながら均一に研ぎます。(砥石は使用前に水に浸しておきます。刃が熱を持たないように要注意！) ③水気を拭き取り、油を薄く塗ります。 ※砥石がない場合は、汚れを落として水気を拭き取り、油を塗るだけでも、きれいになります。</p>
<p>間伐鋸</p> 	<p>①まず刃に付いた汚れ(木くず等)を丁寧に落とします。柄や鞘に泥がついている場合は、それも落とします。 ②水気を拭き取り、油を薄く塗ります。</p>
<p>枝打鋸</p> 	<p>①まず刃に付いた汚れ(木くず等)を丁寧に落とします。柄や鞘に泥がついている場合は、それも落とします。 ②水気を拭き取り、油を薄く塗ります。</p>
<p>竹挽鋸</p> 	<p>①まず刃に付いた汚れ(木くず等)を丁寧に落とします。柄や鞘に泥がついている場合は、それも落とします。 ②水気を拭き取り、油を薄く塗ります。</p>

<p>鉈鎌</p>	<p>①まず刃に付いた汚れ(泥や草)を落とします。柄や鞘に泥がついている場合は、それも落とします。 ②砥石と水を用意し、水をかけながら均一に研ぎます。(砥石は使用前に水に浸しておきます。摩擦で刃が熱を持たないように要注意！) ③水気を拭き取り、油を薄く塗ります。 ※砥石がない場合は、汚れを落として水気を拭き取り、油を塗るだけでも、きれいになります。</p>
	<p>①まず刃に付いた汚れ(泥や草)を落とします。柄に泥がついている場合は、それも落とします。 ②水気を拭き取り、油を薄く塗ります。 ③5本一組にして、ひもで結んでまとめます。</p> <p>※使用する前に、一晩水に浸してください。そうしないとクサビがゆるくなり、使っているときにクサビが抜けてしまう危険があります。</p>
<p>鍬(長柄・短柄)</p>	<p>①使う前に、水に浸しておきます。こうすることで、砥石の摩耗を防ぎます。 ②使う際は必ず水をかけながら研ぎ、刃が熱を持たないように注意します。 ③最初に目の荒い面で研ぎ、仕上げに目の細かい面で研いで、完成です。(研いだ刃の水気はしっかり拭き取りましょう！)</p>
<p>砥石</p>	<p>①汚れ(泥や草)がある場合は落とします。 ②水気がある場合は、なるべく乾かしてください。 ③5本一組で、結んでまとめます。</p>
<p>ベルト</p>	<p>①汚れ(泥や草)がある場合は落とします。 ②水気がある場合は、必ず乾かしてください。</p> <p>※たくさんの方が使うものなので、使い捨てのペーパーキャップを用意できる場合は、ペーパーキャップの使用をお願いします。</p>
<p>ヘルメット</p>	

お手入れありがとうございました！
 またのご利用をお待ちしております♪

